

令和元年度 労働安全・健康管理講習会

令和元年8月1日（月）に新潟県建設会館において「令和元年度 労働安全・健康管理講習会」を開催し、58名の方々が参加されました。

山岸会長から「『新たな時代にPDCAみんなで築こう ゼロ災職場』をスローガンに全国安全週間が実施された。測量現場でも滑落・転落、水難事故や熱中症などの労働災害が発生している。この講習会を契機に、労働安全と健康管理の意識を一人ひとりが更に高めて安全で健康で働ける職場づくりに取り組んでいただきたい。」との挨拶の後、次の内容で講義を受けました。

第一部

- 演題 「職場における健康づくり ～歯科保健から見た生活習慣病予防～」
- 講師 （一社）新潟県歯科医師会 常務理事 木戸 寿明 様
- 内容 体が丈夫だから歯も丈夫で栄養も十分に摂れる。歯の数が多い人は健康で長生き。歯周病が、動脈硬化や心臓病、糖尿病などの生活習慣病に影響しているといわれているので、この予防には歯磨きなど「歯科保健」が大切である。

第二部

- 演題 「安全衛生の予防習慣化」
- 講師 高橋労働コンサルタント事務所 所長 高橋 則夫 様
- 内容 労働安全教育の重要性や土木工事の主な災害と要因に触れ、ゼロ災運動の基本概念と人間特性に応じた対策の大切さを説明。具体的事例を示しながら5E方策による予防など、災害リスクへの予知・予防の習慣化が必要である。



【第1部 講義】



【第2部 講義】